



カール・ロジャース(1902-1987)

カール・ロジャース晩年の “傾聴に関する2重の考察”の理論と実際を体験的に学ぶ

講師:池見 陽氏 関西大学 人間健康学部教授

日時:2025年1月21日(火)・28(火)各日19:30~21:30

カール・ロジャースの心理療法論は「非指示的心理療法」「クライアント中心療法」と「パーソン・センタード・アプローチ」と3つの時期に区切られ、それぞれの時期で理論や実践は多少異なります。「傾聴」と訳されたリスニングは非指示的心理療法の時代に考案されました。しかしクライアント中心療法時代では治療的人間関係に舵を切りリスニングは否定されます。最後の時期にロジャースはリスニングに対する「2重の考察」を得たと再びリスニングに戻り「感情の反射」に代わる「理解の試み」を提唱し、E. ジェンドリンの体験過程論に傾倒しました。亡くなる3ヶ月前に発表した論文に彼の傾聴の最終的な形がみられます。私の最新論文を教材にして解説し体験的に学びます。人間性心理学研究 42 巻 1 号 9-15 (2024).

会費 会員 6,600 円 (税込) 非会員 7,700 円(税込)2日間

会場:オンライン(zoom)

定員:30名(先着順に受付、最小開講人数20名)

申込期限:web で12月25日(水)までにお申し込みください 

♡振込方法:先着順に受け付けし最小開講人数に達し次第、振込先のご連絡をメール送信いたします。メールに記載の振込先にご入金ください、ご入金確認後に講座のご案内をメール送信いたします。

♡申込・問合せ先:四国支部 高知事務所

電話番号:088-826-9880 10:00~17:00(土日祝を除く)

E-mail: shikoku.kochi@counselor.or.jp

※詳細は四国支部 HP よりご覧になれます。

URL <https://www.counselor-shikoku.jp/>